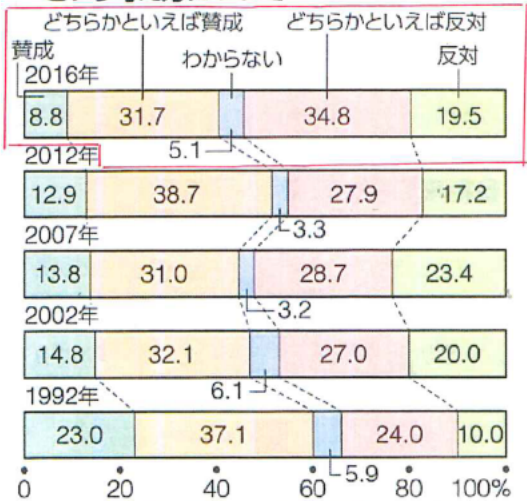


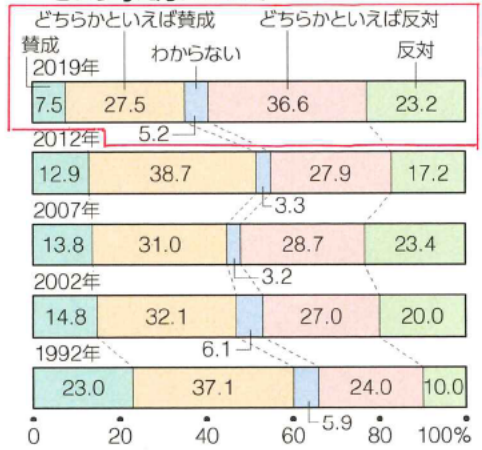
▶「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



注)20歳以上の日本国籍を有する者(5000人)を対象に個別面接調査。

内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」による

▶「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

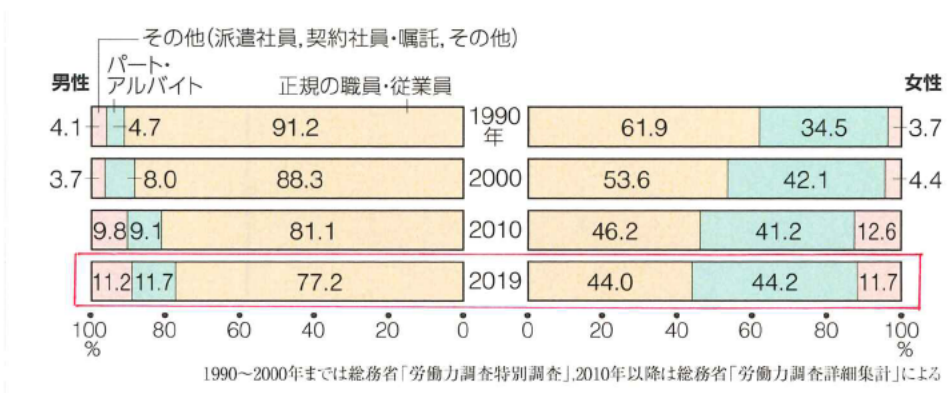
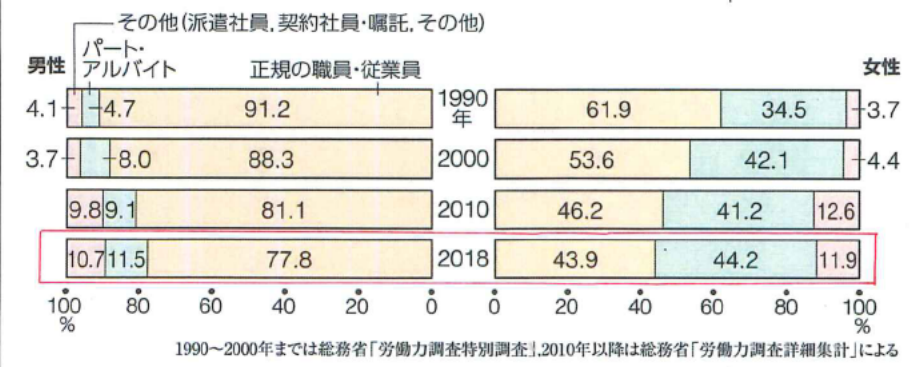


注)20歳以上(2019年は18歳以上)の日本国籍を有する者(5000人)を対象に個別面接調査。

内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」による

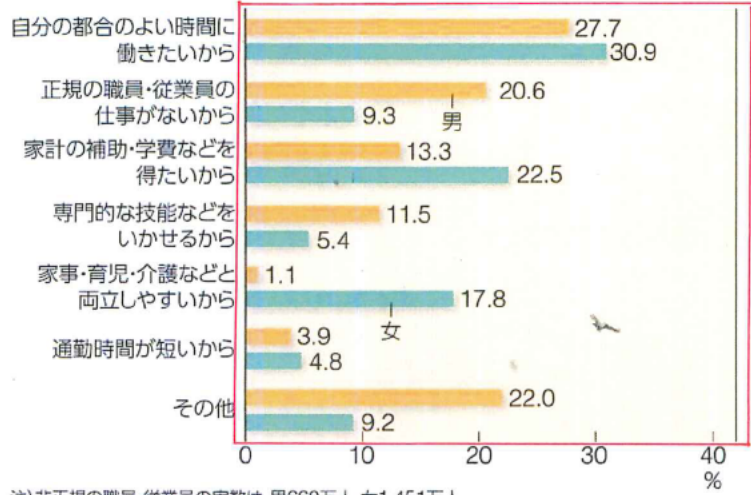
2

10 図 11

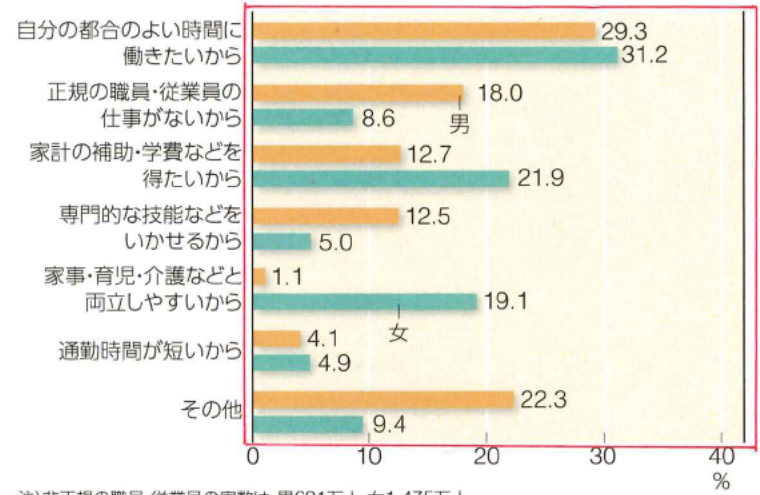


番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		

3 11 図 12



注)非正規の職員・従業員の実数は、男669万人、女1,451万人。
総務省「労働力調査詳細集計」(2018年)による

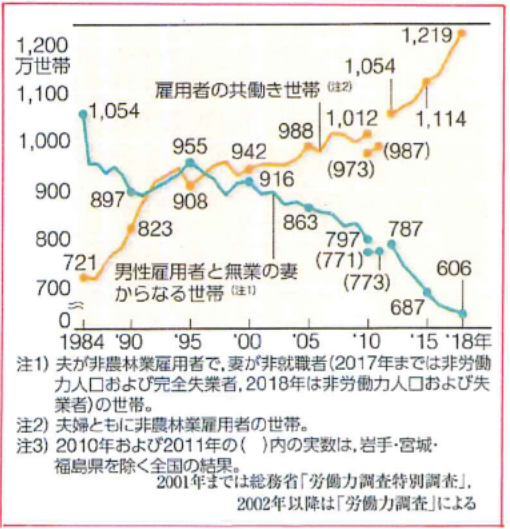


注)非正規の職員・従業員の実数は、男691万人、女1,475万人。
総務省「労働力調査詳細集計」(2019年)による

4 12 図 13

原 文

訂 正 文



番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文																								
	ページ	行																										
5	12	図 15	<table border="1"> <tr><td>フランス</td><td><u>1.90</u></td></tr> <tr><td>スウェーデン</td><td><u>1.78</u></td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td><u>1.76</u></td></tr> <tr><td>ドイツ</td><td>1.57</td></tr> <tr><td>日本</td><td><u>1.43</u></td></tr> <tr><td>韓国</td><td><u>1.05</u></td></tr> </table> <p>注1) <u>2017年の合計特殊出生率。</u> 注2) <u>経年変化および詳細は</u> p.42㊸参照。</p>	フランス	<u>1.90</u>	スウェーデン	<u>1.78</u>	アメリカ	<u>1.76</u>	ドイツ	1.57	日本	<u>1.43</u>	韓国	<u>1.05</u>	<table border="1"> <tr><td>フランス</td><td><u>1.88</u></td></tr> <tr><td>スウェーデン</td><td><u>1.75</u></td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td><u>1.73</u></td></tr> <tr><td>ドイツ</td><td>1.57</td></tr> <tr><td>日本</td><td><u>1.36</u></td></tr> <tr><td>韓国</td><td><u>0.98</u></td></tr> </table> <p>注1) <u>日本は2019年, 他は2018</u> <u>年の合計特殊出生率。</u> 注2) <u>経年変化および詳細は</u> p.42㊸参照。</p>	フランス	<u>1.88</u>	スウェーデン	<u>1.75</u>	アメリカ	<u>1.73</u>	ドイツ	1.57	日本	<u>1.36</u>	韓国	<u>0.98</u>
フランス	<u>1.90</u>																											
スウェーデン	<u>1.78</u>																											
アメリカ	<u>1.76</u>																											
ドイツ	1.57																											
日本	<u>1.43</u>																											
韓国	<u>1.05</u>																											
フランス	<u>1.88</u>																											
スウェーデン	<u>1.75</u>																											
アメリカ	<u>1.73</u>																											
ドイツ	1.57																											
日本	<u>1.36</u>																											
韓国	<u>0.98</u>																											

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
6	21	16	<u>13.9% (2015年)</u>	<u>13.5% (2018年)</u>

7 37 図 25

	種類	回数と接種年齢のめやす
定期予防接種	B型肝炎	3回(生後2・3・7～8か月ころ)
	BCG(結核)	1回(生後5～7か月ころ)
	ヒブ ^{注3)} (髄膜炎)	4回(生後2～4か月ころに3回、12～17か月に追加で1回)
	小児肺炎球菌	4回 ^(注1) (生後2～4か月ころに3回、12～15か月に追加で1回)
	四種混合 (ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)	4回(3・4・6か月ころ、1歳ころ)
	麻疹、風しん	2回(1歳、5～6歳ころ)
	水痘(水ぼうそう)	2回(1歳ころ)
任意予防接種	日本脳炎	4回(3・3・4・9歳ころ)
	おたふくかぜ	1回(1歳ころ)
	インフルエンザ	12歳以下は年2回、13歳以上は年1回
	ロタウイルス	2～3回(生後2～4か月ころ)

注1) 接種開始年齢により回数異なる。 注2) 詳細は各自治体によって異なる。
 注3) インフルエンザ菌b型。
 「日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール」より作成

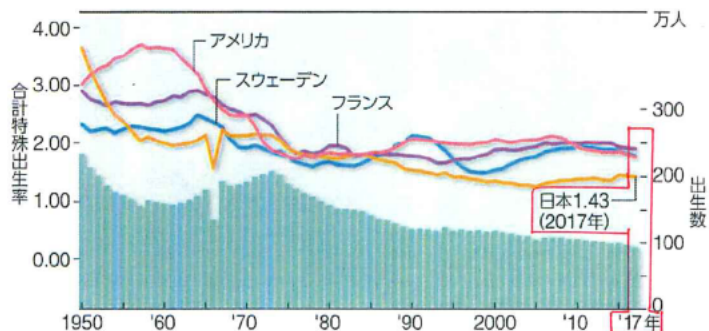
	種類	回数と接種年齢のめやす
定期予防接種	B型肝炎	3回(生後2・3・7～8か月ころ)
	BCG(結核)	1回(生後5～7か月ころ)
	ヒブ ^{注3)} (髄膜炎)	4回(生後2～4か月ころに3回、12～17か月に追加で1回)
	小児肺炎球菌	4回 ^(注1) (生後2～4か月ころに3回、12～15か月に追加で1回)
	ロタウイルス	2～3回(生後2～4か月ころ)
	四種混合 (ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)	4回(3・4・6か月ころ、1歳ころ)
	麻疹、風しん	2回(1歳、5～6歳ころ)
任意予防接種	水痘(水ぼうそう)	2回(1歳ころ)
	日本脳炎	4回(3・3・4・9歳ころ)
	おたふくかぜ	1回(1歳ころ)
	インフルエンザ	12歳以下は年2回、13歳以上は年1回

注1) 接種開始年齢により回数異なる。 注2) 詳細は各自治体によって異なる。
 注3) インフルエンザ菌b型。
 「日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール」より作成

8

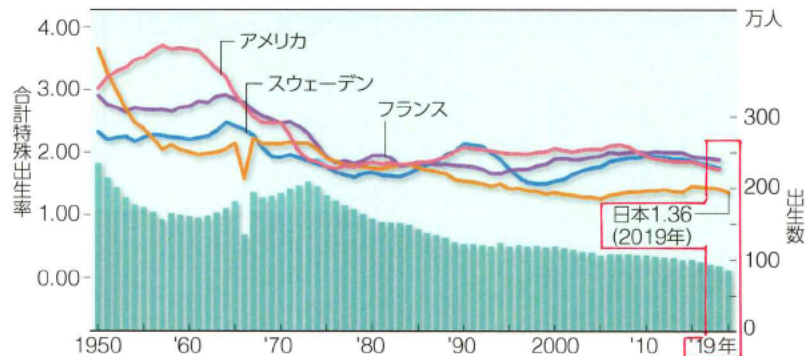
42

図 36



注) 合計特殊出生率とは、1人の女性が生涯に生む子どもの数の平均値である。人口維持には2.07以上が必要とされる。

ヨーロッパはEU "Eurostat", Council of Europe "Recent demographic developments in Europe", United Nations "Demographic Yearbook" など。アメリカはU.S. Department of Health and Human Services "National Vital Statistics Report", United Nations "Demographic Yearbook", U.S. Census Bureau など。日本は厚生労働省「人口動態統計」による



注) 合計特殊出生率とは、1人の女性が生涯に生む子どもの数の平均値である。人口維持には2.07以上が必要とされる。

ヨーロッパはEU "Eurostat", Council of Europe "Recent demographic developments in Europe", United Nations "Demographic Yearbook" など。アメリカはU.S. Department of Health and Human Services "National Vital Statistics Report", United Nations "Demographic Yearbook", U.S. Census Bureau など。日本は厚生労働省「人口動態統計」による

9 45 図 42



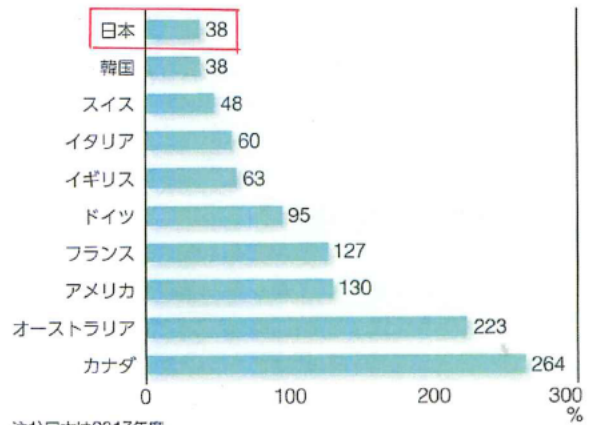
注1) 夫が非農林業雇用者で、妻が非就職者(2017年までは非労働力人口および完全失業者、2018年は非労働力人口および失業者)の世帯。
 注2) 夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。
 注3) 2010年および2011年の()内の実数は、岩手・宮城・福島県を除く全国の結果。
 2001年までは総務省「労働力調査特別調査」、2002年以降は「労働力調査」による



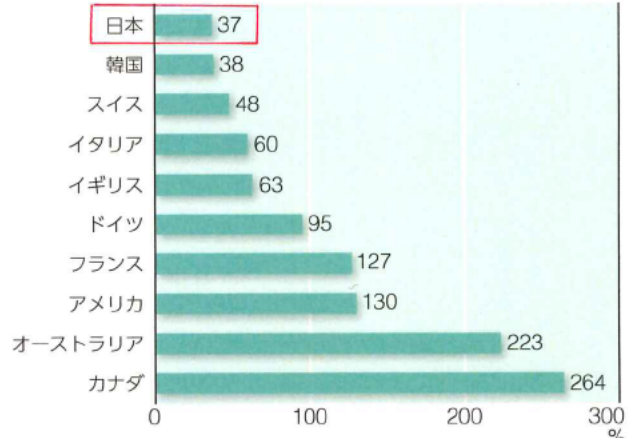
注1) 夫が非農林業雇用者で、妻が非就職者(2017年までは非労働力人口および完全失業者、2018年以降は非労働力人口および失業者)の世帯。
 注2) 夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。
 注3) 2010年および2011年の()内の実数は、岩手・宮城・福島県を除く全国の結果。
 2001年までは総務省「労働力調査特別調査」、2002年以降は「労働力調査」による

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
10	53	7～9 行	日本の平均寿命は、 男性 <u>81.25</u> 歳、女性 <u>87.32</u> 歳（ <u>2018</u> 年）であり、世界でも有数の長 寿国である。	日本の平均寿命は、男性 <u>81.41</u> 歳、女性 <u>87.45</u> 歳（ <u>2019</u> 年） であり、世界でも有数の長寿国である。

11 92 図 54

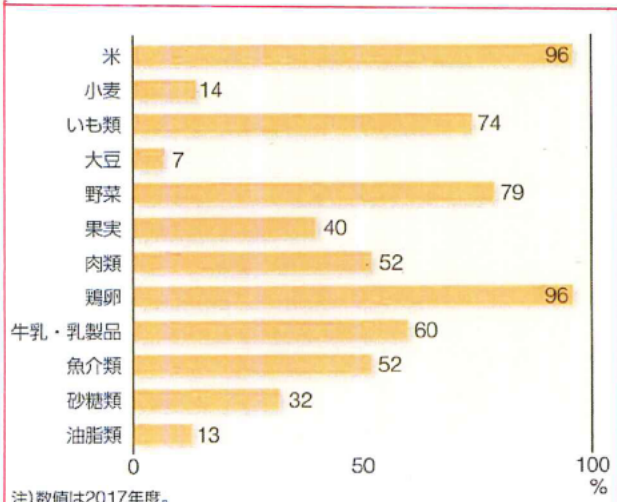


注1)日本は2017年度。
 注2)韓国は2017年。スイスは2016年。それ以外の国は2013年。
 農林水産省「食料需給表」による



注1)日本は2018年度。
 注2)韓国は2017年。スイスは2016年。それ以外の国は2013年。
 農林水産省「食料需給表」による

12 92 図 55



注)数値は2017年度。
 農林水産省「食料需給表」による



注)数値は2018年度。
 農林水産省「食料需給表」による

13 96 図 61

年齢(歳)	性別	栄養素 推定エネルギー必要量(kcal)(参考)			たんぱく質 推奨量(g)	脂肪エネルギー 比率目標量(%)	ビタミンB ₁ 推奨量(mg)	ビタミンB ₂ 推奨量(mg)	ナイアシン推奨量 (mgNE) ^(注1)
		身体活動 レベルⅠ	身体活動 レベルⅡ	身体活動 レベルⅢ					
15~17	男	2,500	<u>2,850</u>	3,150	65	20以上30未満	1.5	1.7	<u>16</u>
	女	2,050	2,300	2,550	55	20以上30未満	1.2	1.4	13
18~29	男	2,300	2,650	3,050	<u>60</u>	20以上30未満	1.4	1.6	15
	女	<u>1,650</u>	<u>1,950</u>	<u>2,200</u>	50	20以上30未満	1.1	1.2	11

年齢(歳)	性別	ビタミンC 推奨量 (mg)	ビタミンA推奨量 (μgRAE) ^(注2)	ビタミンE 目安量 (mg)	ビタミンD目安量 (μg)	カルシウム推奨量 (mg)	鉄推奨量(mg)		ナトリウム 目標量(g) (食塩相当量)
							(女性:月経な し)	(女性:月経あ り)	
15~17	男	100	900	<u>7.5</u>	<u>6.0</u>	800	<u>9.5</u>	-	<u>8.0</u> 未満
	女	100	650	<u>6.0</u>	<u>6.0</u>	650	7.0	10.5	<u>7.0</u> 未満
18~29	男	100	850	<u>6.5</u>	<u>5.5</u>	800	<u>7.0</u>	-	<u>8.0</u> 未満
	女	100	650	<u>6.0</u>	<u>5.5</u>	650	6.0	10.5	<u>7.0</u> 未満

注1)NE:ナイアシン当量。 注2)μgRAE:レチノール当量。 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」より抜粋
















(1日あたり)

年齢(歳)	性別	栄養素 推定エネルギー必要量(kcal)(参考)			たんぱく質 推奨量(g)	脂肪エネルギー 比率目標量(%)	ビタミンB ₁ 推奨量(mg)	ビタミンB ₂ 推奨量(mg)	ナイアシン推奨量 (mgNE) ^(注1)
		身体活動 レベルⅠ	身体活動 レベルⅡ	身体活動 レベルⅢ					
15~17	男	2,500	<u>2,800</u>	3,150	65	20以上30未満	1.5	1.7	<u>17</u>
	女	2,050	2,300	2,550	55	20以上30未満	1.2	1.4	13
18~29	男	2,300	2,650	3,050	<u>65</u>	20以上30未満	1.4	1.6	15
	女	<u>1,700</u>	<u>2,000</u>	<u>2,300</u>	50	20以上30未満	1.1	1.2	11

年齢(歳)	性別	ビタミンC 推奨量 (mg)	ビタミンA推奨量 (μgRAE) ^(注2)	ビタミンE 推奨量 (mg)	ビタミンD推奨量 (μg)	カルシウム推奨量 (mg)	鉄推奨量(mg)		ナトリウム 目標量(g) (食塩相当量)
							(女性:月経な し)	(女性:月経あ り)	
15~17	男	100	900	<u>7.0</u>	9.0	800	<u>10.0</u>	-	<u>7.5</u> 未満
	女	100	650	<u>5.5</u>	<u>8.5</u>	650	7.0	10.5	6.5未満
18~29	男	100	850	<u>6.0</u>	<u>8.5</u>	800	<u>7.5</u>	-	<u>7.5</u> 未満
	女	100	650	<u>5.0</u>	<u>8.5</u>	650	<u>6.5</u>	10.5	6.5未満

注1)NE:ナイアシン当量。 注2)μgRAE:レチノール活性当量。 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」より抜粋

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文																
	ページ	行																		
14	97	図 64 目標とするBMIの範囲の表 3～4行目	<p>▶ 目標とするBMIの範囲(18歳以上)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢(歳)</th> <th>目標とするBMI</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18～49</td> <td>18.5～24.9</td> </tr> <tr> <td>50～69</td> <td>20.0～24.9</td> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>21.5～24.9</td> </tr> </tbody> </table>	年齢(歳)	目標とするBMI	18～49	18.5～24.9	50～69	20.0～24.9	70以上	21.5～24.9	<p>▶ 目標とするBMIの範囲(18歳以上)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢(歳)</th> <th>目標とするBMI</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18～49</td> <td>18.5～24.9</td> </tr> <tr> <td>50～64</td> <td>20.0～24.9</td> </tr> <tr> <td>65以上</td> <td>21.5～24.9</td> </tr> </tbody> </table>	年齢(歳)	目標とするBMI	18～49	18.5～24.9	50～64	20.0～24.9	65以上	21.5～24.9
年齢(歳)	目標とするBMI																			
18～49	18.5～24.9																			
50～69	20.0～24.9																			
70以上	21.5～24.9																			
年齢(歳)	目標とするBMI																			
18～49	18.5～24.9																			
50～64	20.0～24.9																			
65以上	21.5～24.9																			
15	97	図 65	<table border="1"> <thead> <tr> <th>身体活動レベル</th> <th>日常生活の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低い(Ⅰ)</td> <td>生活の大部分が座位で、静的な活動が中心の場合</td> </tr> <tr> <td>ふつう(Ⅱ)</td> <td>座位中心の仕事だが、職場内での移動や立位での作業・接客等、あるいは通勤・買物・家事、軽いスポーツ等のいずれかを含む。</td> </tr> <tr> <td>高い(Ⅲ)</td> <td>移動や立位の多い仕事への従事者、あるいはスポーツなど余暇における活発な運動習慣を持っている場合。</td> </tr> </tbody> </table>	身体活動レベル	日常生活の内容	低い(Ⅰ)	生活の大部分が座位で、静的な活動が中心の場合	ふつう(Ⅱ)	座位中心の仕事だが、職場内での移動や立位での作業・接客等、あるいは通勤・買物・家事、軽いスポーツ等のいずれかを含む。	高い(Ⅲ)	移動や立位の多い仕事への従事者、あるいはスポーツなど余暇における活発な運動習慣を持っている場合。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>身体活動レベル</th> <th>日常生活の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低い(Ⅰ)</td> <td>生活の大部分が座位で、静的な活動が中心の場合</td> </tr> <tr> <td>ふつう(Ⅱ)</td> <td>座位中心の仕事だが、職場内での移動や立位での作業・接客等、通勤・買い物での歩行、軽いスポーツ、のいずれかを含む場合</td> </tr> <tr> <td>高い(Ⅲ)</td> <td>移動や立位の多い仕事への従事者、あるいは、スポーツ等余暇における活発な運動習慣を持っている場合</td> </tr> </tbody> </table>	身体活動レベル	日常生活の内容	低い(Ⅰ)	生活の大部分が座位で、静的な活動が中心の場合	ふつう(Ⅱ)	座位中心の仕事だが、職場内での移動や立位での作業・接客等、通勤・買い物での歩行、軽いスポーツ、のいずれかを含む場合	高い(Ⅲ)	移動や立位の多い仕事への従事者、あるいは、スポーツ等余暇における活発な運動習慣を持っている場合
身体活動レベル	日常生活の内容																			
低い(Ⅰ)	生活の大部分が座位で、静的な活動が中心の場合																			
ふつう(Ⅱ)	座位中心の仕事だが、職場内での移動や立位での作業・接客等、あるいは通勤・買物・家事、軽いスポーツ等のいずれかを含む。																			
高い(Ⅲ)	移動や立位の多い仕事への従事者、あるいはスポーツなど余暇における活発な運動習慣を持っている場合。																			
身体活動レベル	日常生活の内容																			
低い(Ⅰ)	生活の大部分が座位で、静的な活動が中心の場合																			
ふつう(Ⅱ)	座位中心の仕事だが、職場内での移動や立位での作業・接客等、通勤・買い物での歩行、軽いスポーツ、のいずれかを含む場合																			
高い(Ⅲ)	移動や立位の多い仕事への従事者、あるいは、スポーツ等余暇における活発な運動習慣を持っている場合																			

身体活動 レベル	食品群	1群			2群				3群			4群					
		乳・乳製品		卵	魚介・肉		豆・豆製品		野菜	いも	くだもの	穀類		油脂		砂糖	
		男	女	男・女	男	女	男	女	男・女	男・女	男・女	男	女	男	女	男	女
(Ⅰ) 低い	15~17歳	400	330	50	140	120	80	80	350	100	200	360	270	25	20	10	10
	18~29歳	300	250	50	140	100	80	80	350	100	200	330	200	20	15	10	10
(Ⅱ) ふつう	15~17歳	400	330	50	160	120	100	80	350	100	200	420	320	30	25	10	10
	食品構成の例(概量)	 牛乳 $1\frac{3}{5}$ ~2カップ (330~400mL)		 卵 (50g)	 魚1切れ (70~80g)	 豆腐 $\frac{1}{5}$ ~ $\frac{1}{4}$ 丁 (60~80g)	 ひたし物1皿 (100g)	 サラダ (130g)	 米 $1\frac{1}{4}$ ~ $1\frac{3}{4}$ カップ (200~280g)	 砂糖大さじ1 (10g)	 肉 (50~80g)	 煮豆 (20g)	 いも1皿 (100g)	 煮物 (120g)	 くだもの (200g)	 食パン2~2.5枚 (120~140g)	 油大さじ2~2.5 (25~30g)
	18~29歳	300	250	50	140	100	80	80	350	100	200	400	260	30	20	10	10
	(Ⅲ) 高い	15~17歳	400	330	50	180	140	100	100	350	100	200	470	370	35	25	20
	18~29歳	300	250	50	170	100	100	100	350	100	200	460	310	35	25	20	10
栄養的特徴	良質たんぱく質・脂質・カルシウムなどをバランスよく含み、主に身体組織の構成に役立つ			たんぱく質・脂質などを含み、主に身体組織の構成に役立つ				ビタミン・ミネラルなどを含み、生理機能を調節する			炭水化物・脂質を含み、エネルギー源となる						
















注1) 食品群別摂取量のめやすは、香川芳子案による。①野菜はきのこ、海藻を含む。また、野菜の1/3以上は緑黄色野菜でとることとする。②エネルギー量は、「日本人の食事摂取基準(2015年版)」の参考表・推定エネルギー必要量の約95%の割合で構成してある。各人の必要に応じて適宜調整すること。③食品構成は「日本食品標準成分表2015年版(七訂)」で計算。

注2) 男女の区別がない欄は男女共通である。菓子・飲料などの嗜好品は4群に含まれる。食品構成の例(概量)は、身体活動レベルⅡ(ふつう)のめやすである。

(イ) (イ) (イ)

ページ 行

(1人1日あたりの重量=g)

身体活動 レベル	食品群	1群		2群				3群			4群							
		乳・乳製品		卵		魚介・肉		豆・豆製品		野菜	いも	くだもの	穀類		油脂		砂糖	
		男	女	男・女	男	女	男	女	男・女	男・女	男・女	男	女	男	女	男	女	
(Ⅰ) 低い	15~17歳	320	320	50	150	120	80	80	350	100	200	370	260	25	20	10	10	
	18~29歳	300	250	50	180	100	80	80	350	100	200	330	220	20	15	10	10	
(Ⅱ) ふつう	15~17歳	320	320	50	200	120	80	80	350	100	200	430	350	30	20	10	10	
	食品構成の例(概量)	 牛乳1 $\frac{3}{5}$ カップ (320mL)		 卵(50g)	 魚1切れ (70~100g)	 肉 (50~100g)	 豆腐 $\frac{1}{5}$ 丁 (60g)	 煮豆 (20g)	 ひたし物1皿 (100g)	 煮物 (120g)	 いも1皿 (100g)	 サラダ (130g)	 くだもの (200g)	 米 $1\frac{1}{3}$ ~ $1\frac{7}{10}$ カップ (230~290g)	 食パン2~2.5枚 (120~140g)	 砂糖大さじ1 (10g)	 油大さじ2~2.5 (20~30g)	
	18~29歳	300	250	50	180	120	80	80	350	100	200	390	290	30	15	10	10	
(Ⅲ) 高い	15~17歳	380	320	50	200	170	120	80	350	100	200	490	380	30	20	10	10	
	18~29歳	380	300	50	200	150	120	80	350	100	200	470	360	30	20	10	10	
	栄養的特徴	良質たんぱく質・脂質・カルシウムなどをバランスよく含み、主に身体組織の構成に役立つ			たんぱく質・脂質などを含み、主に身体組織の構成に役立つ				ビタミン・ミネラルなどを含み、生理機能を調節する			炭水化物・脂質を含み、エネルギー源となる						

注1) 食品群別摂取量のめやすは、香川明夫監修による。①野菜はきのこ、海藻を含む。また、野菜の1/3以上は緑黄色野菜でとることとする。②エネルギー量は、「日本人の食事摂取基準(2020年版)」の参考表・推定エネルギー必要量の93~97%の割合で構成してある。各人の必要に応じて適宜調整すること。③食品構成は「日本食品標準成分表2015年版(七訂)」で計算。

注2) 男女の区別がない欄は男女共通である。菓子・飲料などの嗜好品は4群に含まれる。食品構成の例(概量)は、身体活動レベルⅡ(ふつう)のめやすである。

17

99

図 70

献立	材料 (g)	食品群									
		1群 乳・ 乳製品	卵	2群 魚介・ 肉	3群 豆・ 豆製品	野菜	3群 いも	くだ もの	4群 穀類	油脂	砂糖
朝食	食パン	50							50		
	卵	15	15								
	フレンチ トースト	80	80								
	バター	4							4		
	はちみつ	5								5	
	レタス	30				30					
	サラダ	きゅうり	20				20				
	トマト	20				20					
	マヨネーズ	4								4	
	くだもの	キウイフルーツ	50					50			
昼食	飯	米	100						100		
	卵	35	35								
	チーズ 入り 卵焼き	チーズ	20	20							
	さやいんげん	3				3					
	砂糖	2								2	
	油	2								2	
	牛肉	40		40							
	アスパラ ガスの 牛肉焼き	アスパラガス	20				20				
	砂糖	2								2	
	油	3								3	
夕食	大豆	20			20						
	五豆	にんじん	5			5					
	ごぼう	10				10					
	れんこん	10				10					
	こんにゃく	20				20					
	砂糖	5								5	
	粉ふき いも	じゃがいも	30				30				
	パセリ	1				1					
	サラダ	レタス	5				5				
	ブロッコリー	10				10					
間食	牛乳	牛乳	200	200							
	くだもの	りんご	100				100				
	飯	米	100						100		
	ぶり	80		80							
	餡のなべ 照り焼き	砂糖	2							2	
	油	4								4	
	だいこん	40				40					
	豆腐	30			30						
	すまし汁	しめじ	20				20				
	みつ葉	4				4					
夕食	ほうれん 草の ごまあえ	ほうれん草	80				80				
	砂糖	4								4	
	かぼちゃ の煮物	かぼちゃ	60				60				
	砂糖	2								2	
	くだもの	かき	50					50			
	合計		300	50	120	50	338	50	200	250	17
家族1人1日のめやす		288	50	123	83	350	100	200	325	23	10

注) 家族の摂取量のめやすは、祖父母(70歳以上)、父母(40歳代)、高校生(男・女)の平均である(身体活動レベルⅡ)。

(15)

献立	材料(g)	食品群									
		1群		2群		3群		4群			
		乳・ 乳製品	卵	魚介・ 肉	豆・ 豆製品	野菜	いも	くだ もの	穀類	油脂	砂糖
朝食	食パン	60						60			
	フレンチ トースト	卵	15	15							
		牛乳	70	70							
		バター	4						4		
	サラダ	はちみつ	5							5	
		レタス	30				30				
		きゅうり	20				20				
		トマト	20				20				
		マヨネーズ	4						4		
		くだもの	キウイフルーツ	50					50		
飯		米	100						100		
チーズ 入り 卵焼き	卵	35	35								
	チーズ	10	10								
	さやいんげん	3				3					
	砂糖	2							2		
	油	2							2		
アスパラ ガスの 牛肉巻き	牛肉	60		60							
	アスパラガス	20				20					
	砂糖	2							2		
	油	3							3		
五目豆	大豆	30			30						
	にんじん	5				5					
	ごぼう	10				10					
	れんこん	10				10					
	こんにゃく	20				20					
	砂糖	5							5		
粉ふき いも	じゃがいも	30				30					
	パセリ	1				1					
サラダ	レタス	5				5					
	ブロッコリー	10				10					
間食	牛乳	牛乳	200	200							
	くだもの	りんご	100					100			
夕食	飯	米	150						150		
	魚のなべ 照り焼き	ぶり	80		80						
		砂糖	2							2	
		油	4							4	
		だいこん	40				40				
	豆腐	40			40						
	すまし汁	しめじ	20				20				
		みつ葉	4				4				
	ほうれん 草の ごまあえ	ほうれん草	80				80				
		砂糖	4							4	
かぼちゃ の煮物	かぼちゃ	60				60					
	砂糖	2							2		
くだもの	かき	50						50			
合計		280	50	140	70	338	50	200	310	17	22
家族1人1日のめやす		264	50	158	80	350	100	200	348	22	10

注) 家族の摂取量のめやすは、祖父母(65~74歳)、父母(40歳代)、高校生(男、15~17歳)の平均である(身体活動レベルⅡ)。

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
18	102	卵焼き 手順①	<u>ボール</u>	ボ <u>ウ</u> ル
	105	ストラ ッチャ テッラ 手順①	<u>ボール</u>	ボ <u>ウ</u> ル
	107	いちご 大福 手順③	<u>ボール</u>	ボ <u>ウ</u> ル
	111	フレン チサラ ダ 手順②	<u>ボール</u>	ボ <u>ウ</u> ル
	111	フレン チサラ ダ Point	<u>ボール</u>	ボ <u>ウ</u> ル
	111	マヨネ ーズソ ースの 作り方 ①	<u>ボール</u>	ボ <u>ウ</u> ル
	111	マドレ ーヌ 手順⑤	<u>ボール</u>	ボ <u>ウ</u> ル
	112	豚肉と ピーマ ン炒め 手順④	<u>ボール</u>	ボ <u>ウ</u> ル

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
19	113	とうもろこしの卵スープ 手順③	<u>穴あき玉じゃくし</u>	<u>穴じゃくし</u>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
20	127	図 19 タイトル	<u>吸湿</u> 速乾のしくみ	<u>吸水</u> 速乾のしくみ
21	129	6 行	日本 <u>工業</u> 規格 (JIS)	日本 <u>産業</u> 規格 (JIS)

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
22	144	図1 第二次的機能	第二次的機能 <u>家族生活の場</u>	第二次的機能 <u>家庭生活の場</u>
23	158	2行	JIS（日本 <u>工業</u> 規格）	JIS（日本 <u>産業</u> 規格）